



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社和井田製作所 上場取引所 東
 コード番号 6158 URL <https://www.waida.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 和井田 光生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 森下 博 (TEL) 0577-32-0390
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,123	△48.4	127	△87.5	133	△86.9	89	△87.4
2020年3月期第2四半期	4,118	1.5	1,017	10.6	1,024	9.3	711	8.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 101百万円(△85.8%) 2020年3月期第2四半期 715百万円(5.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	13.91	—
2020年3月期第2四半期	110.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,690	8,084	75.0
2020年3月期	10,544	8,131	76.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 8,022百万円 2020年3月期 8,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	5.00			
2021年3月期(予想)			—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,291	△45.4	242	△86.0	256	△85.3	177	△84.7	27.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	7,028,000株	2020年3月期	7,028,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	585,553株	2020年3月期	599,349株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,432,797株	2020年3月期2Q	6,428,651株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における工作機械業界は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の停滞の影響を受け、受注総額が3,964億円、うち内需が1,408億円、外需が2,555億円と、内外需ともに前年同期を大きく下回る受注となりました。今後は、中国を含むアジアを中心に部分的に持ち直しの動きが見られており、受注の底は抜け出しつつあると思われるものの、欧米地域等での新型コロナウイルスの感染再拡大や中国との通商摩擦及び米中対立の激化などの影響により、依然として厳しい市場環境が続くものと見込まれております。

このような経済環境下、当社は事業の継続とお客様、お取引先様、従業員及び家族の健康・安全を最優先に考え、出張制限やテレワーク等の新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、事業活動を行っております。

当社においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大による設備投資の減少等の影響を受けておりますが、金型関連研削盤についてはプロファイル研削盤の新機種「SPG-X」及びジグ研削盤の新機種「UJG-35i」を中心に積極的な受注販売活動を行い、5G化やスマートフォンのカメラ性能強化等により需要拡大が期待される分野における潜在需要の取り込みを継続して進めております。切削工具関連研削盤についても厳しい受注状況となっておりますが、全自動溝入れインサート研削盤「GIG-202」や高剛性複合インサート研削盤「APX-105」などの加工の高度化に対応したハイエンドモデルを軸に、需要の掘り起こしに努めております。

また、新機種等の研究開発にも継続して取り組んでおり、2020年11月にオンラインで開催される展示会「JIMTOF2020」への出展を予定しております。

海外展開につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されている状況ではありますが、各地域において、今後の需要拡大のための各施策を行っております。特に欧米地域においてはシェア拡大の余地が大きいことから、アメリカノースカロライナ支店の拡張や現地での当社製品の展示、ドイツHAAS社との販売提携契約の継続等により、販売促進を図っております。また、台湾の連結子会社である和井田友嘉精機有限公司を活用した生産販売体制の強化にも引き続き取り組んでおります。

2020年5月11日に発表した期初計画におきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大や、中国経済の構造問題、米中貿易摩擦の影響等による景況悪化の影響を大きく受けることが予想されたことから、売上高1,930百万円、営業損失90百万円、経常損失88百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失86百万円の業績予想数値を開示しておりました。しかし、上記の取り組みのほか、お客様のご協力のもと営業活動や製品の納入検収、アフターサービス等において想定以上にリモート対応が進んだことや、生産性向上による原価低減の取り組み、厳格な予算管理による販管費の抑制等の効果等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,123百万円（前年同期比48.4%減）、営業利益は127百万円（前年同期比87.5%減）、経常利益は133百万円（前年同期比86.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は89百万円（前年同期比87.4%減）となりました。

品目別に業績を示すと、次のとおりであります。

(金型関連研削盤)

中国向けの販売は前年同期比で増加したものの、国内及びその他アジア地域向けの販売は減少し、結果として売上高は805百万円（前年同期比40.2%減）となりました。金型関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の37.9%を占めております。

(切削工具関連研削盤)

全ての地域において前年同期比で減少し、売上高は861百万円（前年同期比61.6%減）となりました。切削工具関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の40.6%を占めております。

(その他の機械)

NCプロッター（作図機）等のその他の機械については、売上高は28百万円（前年同期比14.9%減）となりました。その他の機械の売上高は、当社グループの総売上高の1.3%を占めております。

(アフターサービス)

アフターサービス（有償修理）及びメンテナンス部品については、売上高は427百万円（前年同期比13.0%減）となりました。アフターサービスにおける売上高は、当社グループの総売上高の20.1%を占めております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ145百万円増加し、10,690百万円となりました。これは、主として現金及び預金が611百万円増加し、受取手形及び売掛金が424百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ192百万円増加し、2,605百万円となりました。これは、主として長期借入金が991百万円増加し、支払手形及び買掛金が222百万円、役員賞与引当金が121百万円、未払法人税等が259百万円、その他流動負債が169百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し、8,084百万円となりました。これは、主として利益剰余金が71百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ611百万円増加し、5,168百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の使用した資金は、118百万円となりました。(前年同期は415百万円の収入)

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益133百万円、減価償却費119百万円、売上債権の減少額466百万円等であり、支出の主な内訳は、役員賞与引当金の減少額121百万円、仕入債務の減少額222百万円、その他負債の減少額180百万円、法人税等の支払額277百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、66百万円となりました。(前年同期は135百万円の支出)

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出58百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、791百万円となりました。(前年同期は186百万円の支出)

収入の内訳は、長期借入れによる収入1,100百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出108百万円、配当金の支払額160百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年10月30日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,897,683	5,508,760
受取手形及び売掛金	1,168,574	744,280
商品及び製品	-	12,849
仕掛品	1,400,333	1,383,428
原材料及び貯蔵品	658,815	649,790
その他	29,498	73,650
貸倒引当金	△1	-
流動資産合計	8,154,903	8,372,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	584,612	580,342
機械装置及び運搬具(純額)	409,999	397,975
土地	853,090	853,090
リース資産(純額)	108,806	82,895
その他(純額)	70,619	67,028
建設仮勘定	136	198
有形固定資産合計	2,027,264	1,981,530
無形固定資産	14,856	16,623
投資その他の資産		
投資有価証券	177,104	187,238
繰延税金資産	144,183	106,285
その他	26,415	25,852
投資その他の資産合計	347,703	319,375
固定資産合計	2,389,824	2,317,529
資産合計	10,544,728	10,690,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	515,858	293,160
短期借入金	45,840	36,500
1年内返済予定の長期借入金	126,727	319,226
リース債務	55,628	54,342
役員賞与引当金	121,350	-
未払法人税等	275,606	15,889
その他	434,009	264,603
流動負債合計	1,575,020	983,722
固定負債		
長期借入金	511,474	1,310,550
長期未払金	49,030	49,030
退職給付に係る負債	215,240	226,028
長期リース債務	62,795	36,406
固定負債合計	838,541	1,622,015
負債合計	2,413,562	2,605,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	881,244	881,244
利益剰余金	6,749,560	6,678,320
自己株式	△406,732	△394,344
株主資本合計	8,067,372	8,008,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,163	2,519
為替換算調整勘定	10,553	11,579
その他の包括利益累計額合計	3,390	14,099
非支配株主持分	60,404	61,931
純資産合計	8,131,166	8,084,551
負債純資産合計	10,544,728	10,690,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,118,408	2,123,256
売上原価	2,318,513	1,319,682
売上総利益	1,799,894	803,574
販売費及び一般管理費	782,107	676,372
営業利益	1,017,787	127,201
営業外収益		
受取利息	127	63
受取配当金	3,910	3,969
受取賃貸料	5,278	5,442
為替差益	280	-
補助金収入	-	6,252
その他	5,132	2,060
営業外収益合計	14,730	17,787
営業外費用		
支払利息	5,046	5,326
不動産賃貸原価	3,192	3,192
為替差損	-	2,727
営業外費用合計	8,239	11,246
経常利益	1,024,278	133,743
特別利益		
固定資産売却益	862	-
特別利益合計	862	-
特別損失		
固定資産除却損	0	57
特別損失合計	0	57
税金等調整前四半期純利益	1,025,141	133,685
法人税、住民税及び事業税	305,113	6,136
法人税等調整額	△5,003	37,385
法人税等合計	300,110	43,521
四半期純利益	725,031	90,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,861	687
親会社株主に帰属する四半期純利益	711,170	89,475

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	725,031	90,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,657	9,682
為替換算調整勘定	△3,726	1,866
その他の包括利益合計	△9,384	11,548
四半期包括利益	715,646	101,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	703,462	100,184
非支配株主に係る四半期包括利益	12,183	1,527

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,025,141	133,685
減価償却費	116,791	119,070
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△165,000	△121,350
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	19,833	10,788
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△1
受取利息及び受取配当金	△4,038	△4,032
支払利息	5,046	5,326
為替差損益 (△は益)	6,837	△3,083
固定資産売却益	△862	-
固定資産除却損	0	57
売上債権の増減額 (△は増加)	202,196	466,528
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△422,391	△12,584
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,574	△222,697
その他の資産の増減額 (△は増加)	11,873	△30,764
その他の負債の増減額 (△は減少)	56,135	△180,460
小計	823,970	160,482
利息及び配当金の受取額	4,038	4,035
利息の支払額	△5,051	△5,749
法人税等の支払額	△407,924	△277,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	415,031	△118,708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△131,420	△58,026
有形固定資産の売却による収入	862	-
無形固定資産の取得による支出	△5,229	△8,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,786	△66,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	20,440
短期借入金の返済による支出	△86,351	△30,000
長期借入れによる収入	36,888	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△93,207	△108,955
リース債務の返済による支出	△32,966	△28,783
配当金の支払額	△160,716	△160,716
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186,353	791,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,046	3,892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	83,844	611,077
現金及び現金同等物の期首残高	3,496,659	4,557,683
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,580,503	5,168,760

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した会計上の見積りに用いた仮定の記載について変更を行っております。当社グループにおきましては、会計上の見積りに用いた仮定を、受注状況は今後緩やかに回復基調に向かうものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による企業の設備投資の減少等の影響が少なくとも2022年3月期第2四半期までは続く、という仮定に変更しております。ただし、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りには重要な影響はありません。

3. その他

該当事項はありません。